参考資料１

立地適正化に関する基本的な方針（案）

加茂市の目指す姿（ターゲット）

＜まちづくりのターゲット＞

・市として健康や教育に力を入れていることを踏まえると、今後の加茂市を担い活力を生む子育て世代の誘導が重要

・また、市民が生涯にわたって健康であることを目指すためには、特に高齢者世代の健康増進が重要

⇒市民の誰もが快適に暮らせることを基本としつつ、**今後の加茂市を担う「子育て世代」や特に健康増進が重要となる「高齢者世代」をまちづくりの主たるターゲット**とする

＜目指す姿＞

・人口減少・少子高齢化等の社会情勢のなかでも、子どもから高齢者まで全ての市民が**いつまでも笑顔で健康に暮らせるまち**

・**加茂駅東側の商店街周辺（まちなかエリア）**は、商店街やそれに近接する加茂山、加茂川等の回遊性を高めるとともに、商店街における魅力的な店舗や市民の暮らしを支えるサービス、ベンチや広場等の休憩・交流の場が充実した、**遊び、買物、自然、憩い・交流等が一体となり歩いて楽しめる居心地の良いまちなか空間**を目指す

・**加茂駅西側の西加茂地域及び下条地域**は、幹線道路沿い等の交通利便性の高いエリアにおいて、医療・福祉、商業等の生活利便性を高める施設や行政・子育て支援・交流等の暮らしを豊かにする機能が充実し、これらの各種サービスを周辺住民が徒歩や公共交通等により気軽に利用できる**便利で快適な生活環境が整った住み良いまち**を目指す

・**集落部**は、地域の拠点に生活サービスや交流施設、市街地までのネットワークを確保し**地域コミュニティや地域活動の維持**を目指す

加茂市の将来像（総合計画）の考え方を踏襲

【加茂市の将来像（総合計画）】

「笑顔あふれるまち　加茂」

（将来像に込めた想い）

・市民が生涯にわたって健康であること。

⇒何をするにも体が第一、**健康を基本**に考えます

・教育や文化を大切にすること。

⇒人生を、心を豊かにする、**教育や文化に力を注ぎます**

加茂市の目指す姿（ターゲット）を実現するためのまちづくりの方針（ストーリー）を設定

まちづくりの方針（ストーリー）

（１）居住に関する方針

・人口減少下においても都市の活力と持続性を確保するため、一定のエリアに居住を誘導・集約し**人口密度をなるべく維持**することに加えて、集落部においては地域コミュニティや地域活動を維持するため、**地域の拠点の定住人口を確保**する

・市街地は徒歩や公共交通により医療・福祉、商業等の生活サービスを利用できる環境や、地域の憩い・交流の空間を確保することで、**子育て世代が選びたくなる、また高齢者が暮らしやすい居住環境を形成**していく

・市街地内の空き家等の既存住宅も活用しながら**まちなか居住を推進**していく

（２）都市機能に関する方針

・市街地では市民の暮らしを支える**医療・福祉、商業、交流等のより身近な生活サービス機能を維持・充実**

・また、通勤・通学や医療・商業等のサービス機能の利用における**近隣都市との連携や役割分担を考慮**し、高次の医療・商業等の都市機能は、近隣都市が持つ機能への交通ネットワークを確保することで補完する

・集落では日常の**生活サービス機能**を確保し、地域コミュニティ・地域活動を活性化させるための**交流・集会機能を充実**

（３）公共交通に関する方針

・市民の暮らしを支える市街地の都市機能へのアクセスを確保するため、市内の必要な**公共交通路線を維持**し、高頻度な主要路線の確保や待合環境の整備等の**公共交通の利便性向上**を図る

・通勤・通学のほか、医療や買物等、近隣都市が担う高次の都市機能へのアクセスを確保するため、三条市や新潟市等の近隣都市への**広域の移動手段の維持**

・また、「かも健康ポイント事業」等、市内の健康に関する取組と連携した**公共交通の利用促進**を図り、まちなかエリア内の徒歩移動と市内各地の公共交通の移動による健康で移動利便性の高い交通環境を形成する

（４）防災に関する方針

・加茂市は山、川に囲まれた位置に市街地が形成され、洪水・土砂災害等の災害リスクが存在している

・全ての市民に対し、洪水や土砂災害、地震等あらゆる災害時において**人命の保護が最大限図られる**よう**被害を低減するための取組**を講じ、特に避難に関する取組を中心とした**地域防災力の向上**に努める

・既に拠点が形成されリスクの回避が難しいエリアは、中長期的に**被害を低減するための取組**を講じることで、都市活動を維持するための**重要な機能の確保**や住宅及び公共施設等の**被害の最小化**を図る

・特に危険なエリアでは**開発の抑制**や**安全なエリアへの移転誘導**を図る

図　加茂市の目指す姿とまちづくりの方針のイメージ

まちづくりの方針（ストーリー）に基づき**目指す都市の骨格構造**を設定（次頁）

目指す都市の骨格構造

○「加茂市の目指す姿（ターゲット）」や「まちづくりの方針（ストーリー）」に基づき、目指す都市の骨格構造として、核となる「拠点」と「軸（公共交通）」の考え方を設定

○立地適正化計画は都市計画域内を対象とした計画であるが、本市は都市計画区域外にも生活圏が広がり、地域の生活の核となる拠点が存在するため、これらも含めた都市の骨格構造を設定

＜目指す都市の骨格構造＞

・医療・福祉、商業、行政等の都市機能が集約している**加茂市街地**は、市の中心都市拠点として**市内の各種サービス機能等が集約した高密度で利便性の高い拠点を形成**し、集落部における各地域の拠点である**須田地区、黒水地区**は、地域拠点として**一定の居住人口や生活サービス・交流機能が確保された拠点を形成**する

・中心都市拠点と地域拠点の**各拠点間を結ぶ公共交通ネットワークによる市内交通軸を形成**するとともに、中心都市拠点を中心に**近隣都市との広域ネットワークによる圏域交通軸を形成**する

・これら各拠点と軸が結びつき、各地域が生活に必要なサービスを享受できる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市構造を目指す

（1）拠点の考え方

中心都市拠点

●**加茂駅周辺や市役所周辺一帯**を市民の生活を支える中心拠点として設定

●中心都市拠点では、**商業機能や行政、事業所などの業務機能や医療・福祉機能の維持・集約**を図り、賑わいの創出や生活利便性の向上を図る

●また、**子育て支援や文化・交流機能等の維持・充実**により、暮らしの豊かさの向上を図る

●加茂駅前から続く商店街を核とし、**空き家・空き店舗等も活用**しながらまちなかエリアの賑わいと活力を創出し、**ウォーカブルで健康なまちづくりを推進**

地域拠点（集落交流拠点）

●**須田地域の前須田地区・後須田地区や七谷地域の黒水地区及びその周辺の国道 290 号沿い**を地域拠点として設定

●地域拠点では、地域交流の活性化と生活利便性の確保のため、拠点内の公有地や公共交通路線等を活用し、**地域内における生活サービスや交流・集会機能の充実**と公共交通の利便性向上及び効率化を図る

●また、**中心都市拠点との交通ネットワークを維持**し、日常生活に必要な医療・福祉・商業等のサービスを享受する

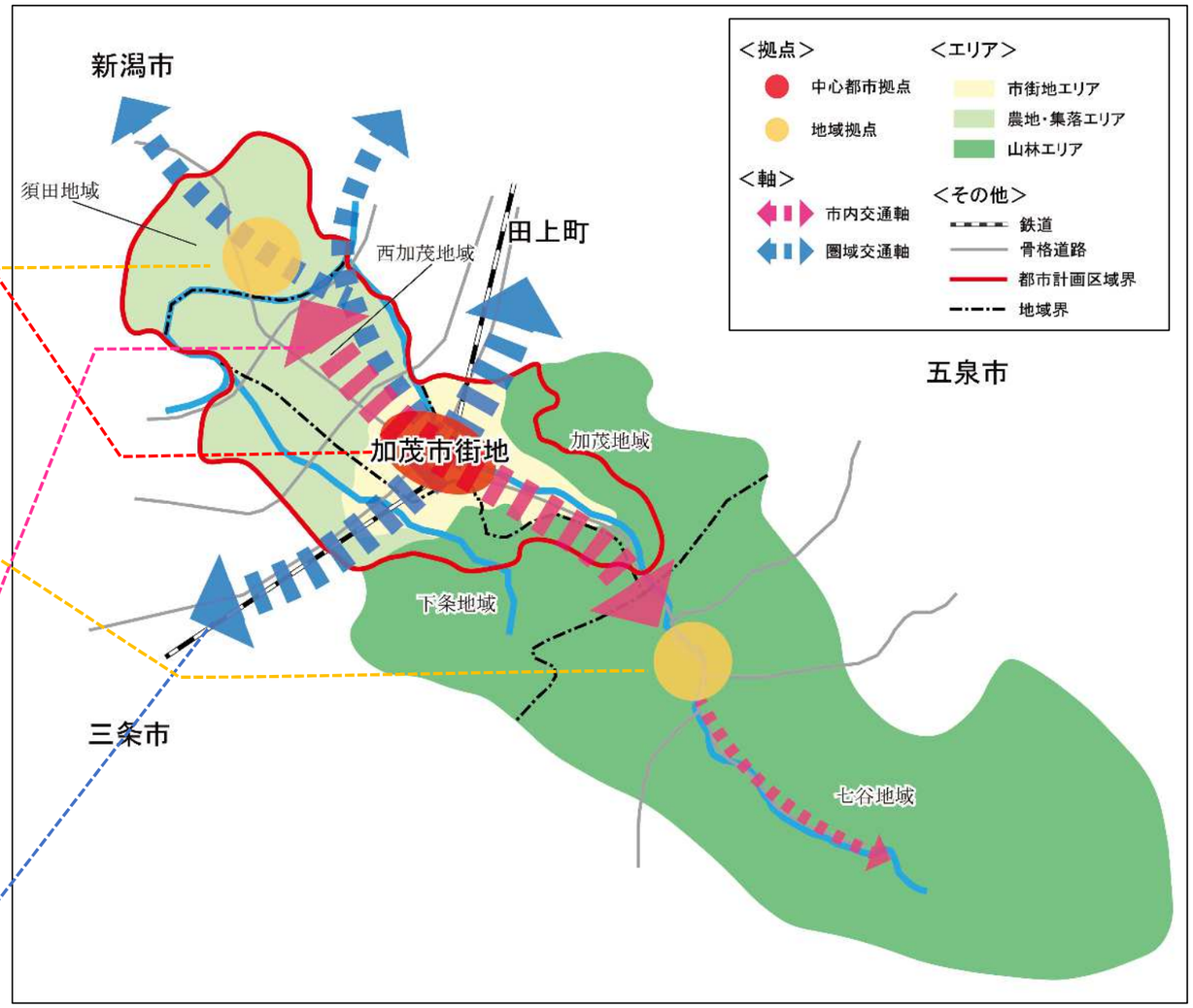
（2）公共交通軸の考え方

市内交通軸

●**須田地区～加茂市街地～黒水地区の主要軸となる市営バスの区間**を中心拠点と地域拠点を結ぶ市内交通軸として設定

●コンパクトなまちづくりを形成する市内の重要な交通軸として、**公共交通ネットワークの維持・改善**を図る

圏域交通軸

●**加茂市街地と新潟市や三条市、長岡市等をつなぐ JR 信越本線や、加茂市街地と田上町、新潟市へつなぐ路線バスの区間**を圏域交通軸として設定

●中心拠点と近隣都市間を結ぶ重要な交通軸として、**公共交通ネットワークを維持**する